

週間感染症情報

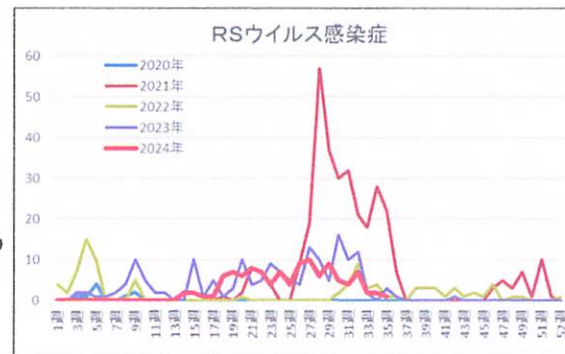
2024年34~35週 2024年8月19日より2024年9月1日まで

34週 35週

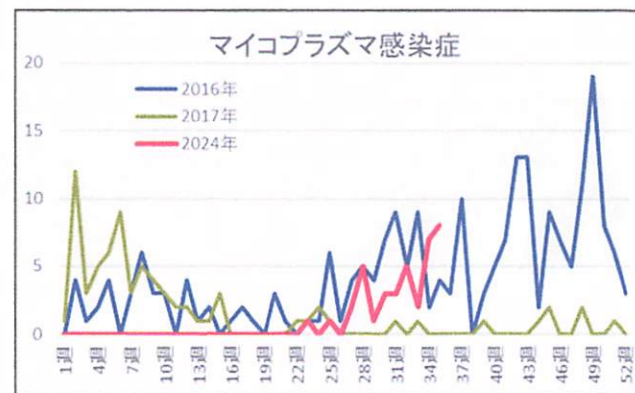
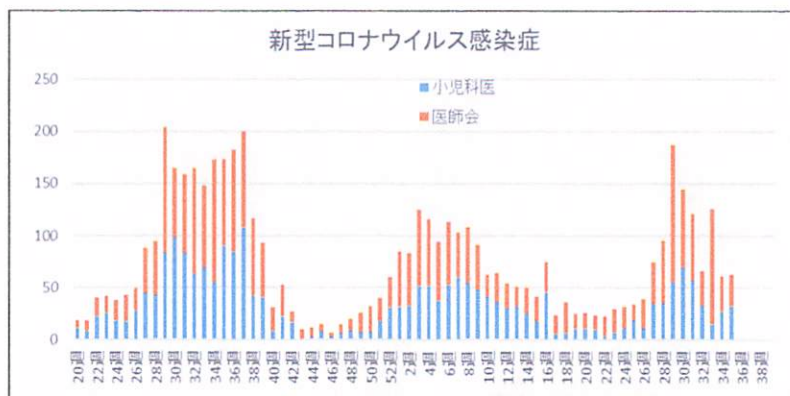
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	17	6
手足口病	12	11
ヘルパンギーナ	1	3
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	23	19
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	2	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	10	8
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	1	3
RSウイルス感染症	2	1
マイコプラズマ感染症	7	8
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	4	
インフルエンザ A	4	
インフルエンザ B		
新型コロナウイルス感染症	61	63

2024年34~35週の2週間の報告です。盆休み以後、コロナの報告は減少しました。このまま減少してくれるといいのですが、2学期が始まり、増加傾向です。乳幼児では家族内感染が多いです。教育委員会から、35週に中学生を中心に15例の報告がありました。これから体育祭・文化祭などがあります。感染の機会も増えて昨年のような流行にならないことを願っています。RSウイルス感染症は2021年のような大きな流行にはなっていませんが、春から秋にかけて流行しており、まだまだみかけます。

右下のグラフのように、マイコプラズマ感染症の報告が増えています。2016~2017年にかけて1年余り大きな流行がありました。2024年7月久しぶりに報告がありました。これから大きな流行になりそうです。潜伏期が2~3週間、飛沫感染が主で感染力も強くありませんが、今後クラス内での流行が心配されます。咳が長引き発熱のない症例も多いようです。軽症であれば「かぜ」で終わってしまいます。感染を広げないために、マスクを着用し換気をしっかりしてください。



体調不良の場合は休み、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。
医療機関・密な環境・公共交通機関では マスクの着用をお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)